

7月19日開催 市政調査会(各区調査)の報告

具体的な
内容は?

市政調査会では、広大な市域を有する奥州市の均衡ある発展を推進するため、各区の問題点を明確化させるとともに、議会としての共通認識のもとに、その解決に向けた方向性を導き出すことを目的に、5つのグループに分かれ、各区の状況を調査、検討することにしました。

- ①各区の施設の視察
- ②各総合支所の行政執行状況について
- ③公共的団体との意見交換会

A【教育系】	◎佐藤 亀梨 ○渡辺 及川 ○関 佐藤 ○佐藤 安倍 ○高橋 遠藤	克夫○三宅 恒男・千葉 廣野 雅昭・渡辺 忠 明美○内田 和良・菅原 明・及川 俊行・千葉 悟郎 梅男・小沢 竿子○石川 修孝・安部 建樹○中西 静夫・小野 勝司○今野 敏・新田	正克・千葉 廣野 雅昭・渡辺 忠 昌記・数江與志元 和好・佐々木國男・佐藤 邦夫・菅野 市夫 皓三・高橋 瑞男・菅原 哲・菅原今朝男・菊池 嘉穂 秀俊・高橋 幸宣・菅原 裕文・阿部加代子・中澤 俊明・佐藤 絢哉 久治・及川 善男	◎グループ長 ○副グループ長 ○幼保 一体施設あゆみ園：本園は、江刺区わ かば園に次いで本市では2番目の施設で、 県内・市内産の木材をふんだんに使用し、 教育スペースも十分にとられ、子供達にと てもよい環境となっていた。また、3歳以 上の子供達は、同一年齢毎の保育室が確保 され合同保育を行い、一体化施設の効果が 出始めているとのこと。食育についても 地元産の作物をふんだんに取入れた給食 を行つており、大変よいことを感じた。課 題としては、看護師をはじめ、教諭、保育 士など有資格者の確保に苦労しており、施 設運営も多少の混乱がみられていたよう な気がした。
B【総務系】				○旧緯度観測所本館 ：平成20年4月才 一plenを目指し、 現在、保存工事が 急ピッチに進めら れていた。
C【福祉系】				○奥州F M放送本社 ：地域色があり、 誰もが気軽に立ち 寄れる放送局でし た。
D【産業系】				○行政執行状況等説明及び懇談会 ：本府と総合支所の組織上の役割を明確にしてい くことと、職員の削減の対応も検討していかなければ ならぬ。市道の改良、消防機器の更新等の 要望にも、対処しなければと考えている。保健福 祉センターを、子育て支援施設に計画変更し、整 理しながら対応するよう進めていく。地区セン ターの運営支援は、8地区と連絡を取りながら、 万全を尽くしていく。
E【建設・まちづくり系】				○行政執行状況等説明及び懇談会 ：本府と総合支所の組織上の役割を明確にしてい くことと、職員の削減の対応も検討していかなければ ならぬ。市道の改良、消防機器の更新等の 要望にも、対処しなければと考えている。保健福 祉センターを、子育て支援施設に計画変更し、整 理しながら対応するよう進めていく。地区セン ターの運営支援は、8地区と連絡を取りながら、 万全を尽くしていく。

備
出席された小・中いざれの学校も学校経営グランドデザインをきちんとつ
くられて運営されていることは学校版マニフェストにも該当すると思い、感
心した。

○衣川芸文協から特に郷土芸能における後継者育成、装束更新等、行政から
○支援について要請がある。また、中学校について、学力向上、進学に向けての努力経過の説明がある。
○生徒数が減少している中で、部活動の人数確保がどの部も課題である。
○小・中学校とも児童生徒数は10年位現状で推移することのこと。また、不登
校の児童生徒数は微増傾向にある。議会も力を貸してほしいとの話があ
つた。

○校庭の整備②フェンス網の張替え③校庭の庭木剪定④学童保育施設の整

A グループ IN 衣川区
教育系



幼保一体施設「あゆみ園」にて

B グループ IN 水沢区
総務系



開館が待たれる旧緯度観測所本館

○行政区長協議会：文書配布を、合併前と同じく
週2回の配布をしている。

○公共的団体等との懇談会
区長としての証明なるものを検討していただ
きたい。

○行政区長協議会：文書配布を、合併前と同じく
週2回の配布をしている。

○税貯蓄組合連合会：単位組合として、納期内
納付率の停滞・補助金申請事務の煩雑化等で、
これからの運営が懸念される。

○婦人団体協議会：環境問題についての自主事業
を立ち上げて取り組んでいる。課題は会員の高
齢化と後継者育成である。

○水沢区消防団：纏り保存会を構成し、伝統を
伝授している。

○婦人団体協議会：環境問題についての自主事業
を立ち上げて取り組んでいる。課題は会員の高
齢化と後継者育成である。